

国土交通省が導入を検討している空港の外資規制は、資本市場をより開かれたものにする流れに逆行し、弊害が大きい。安全保障面の懸念から外資ではなく大株主を規制すべきであり、独占の弊害も外資規制では解決しない。成田の民間化に伴う規制のあり方を慎重に検討すべきだ。

外国企業の参入 歓迎を表す必要

日本への海外からの直接投資は低水準であり、資本市場をより開かれたものにするには、経済活性化に向けた一つの重要な柱である。例えば、外国金融機関がアジアの拠点を東京に置けば、東京はアジアの中心的な金融センターとして発展し、高所得の雇用機会も

本市場が外国企業の参入を歓迎していることを説得的に示す必要がある。それは、必ずしも規制をすべて撤廃することでは

以下のようにするには、第一に、外国企業と日本企業を平等に扱うこと（内外無差別）、第二に、規制の変更が合理的であり、予測が可能であること（予見可能性）、第三に、国際的な取り決めや制度と調和していること（国際的調和）である。

国土交通省は、二〇〇九年度にも上場する準備を進めている成田国際空港会社と既に上場している港会社と既に上場してい

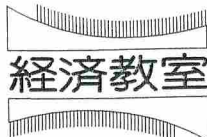
能性は皆無ではないだろう。確かに、日本と潜在的に利害の対立する国の

買収するのは国益を損ねるとの議論には説得力がある。テロリストと関連のある会社に買収されるのも国益にそぐわない

だがこうした懸念に、そもそも外資規制では対処できない。国籍は日本でも、日本政府に敵対する勢力の個人や会社

は、日本でも、日本に損害を与えるから、問題はある。日本に損害を与えるから、問題はある。日本に損害を与えるから、問題はある。

は、日本に損害を与えるから、問題はある。日本に損害を与えるから、問題はある。日本に損害を与えるから、問題はある。



経済教室

拡大しよう。また、オーストラリア資本で活性化した北海道・ニセコのスキーリゾートは、地域活性化や地域での雇用創出のモデルといえる。生産性が見劣りする分野・業種に外国企業が進出することで、競争圧力の高まりを通じて潜在成長率を引き上げることになる。

所信表明演説で福田康夫首相も、制度の透明化をてこ対日投資を倍増させ、空の自由化や貿易手続を効率的にし、日本の金融・資本市場の国際競争力を一層高める旨を表明している。

規制の存在が外国企業に支配された場合、安全保障上の問題が起きる可

弊害大きい空港外資規制

オープン化に逆行 成田の民間化、拙速は禁物



伊藤 隆敏 東京大学教授

る羽田空港のターミナルビルを所有・運営する日本空港ビルデングに関する、外国資本の保有割合を議決権ベースで三分の一未満に抑える規制を計画していること報道されている。これに対して、一部の関係者が反対を表明、経済財政諮問会議の場でも否定的な意見が多い。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

競争が起きにくい独占施設である。航空、道路、鉄道など外部効果を持つインフラを完全民間化した場合、インフラに対する設備投資が社会的な最適水準に比べ過少になる傾向がある。また、着陸料やターミナルビルなどのテナント料を不当に引き上げたり、利用客へのサービスの質を落としたりして、高利益・高配当を実現することも短期的には可能だ。

これは民間化以前からの問題である。また顧客の満足度調査を見ても民間化後に、顕著に悪化しているとの結果はない。もう一つの重要な視点は、成田と羽田の違いである。成田国際空港会社の場合、滑走路からターミナルビルまで空港のすべての施設を管理・運営している。国はまた一〇〇%の株を保有してお

成田国際空港会社には歴史的に国交省OBが多数を占めている。国交省提案のうち羽田の場合、今回の国交省の外資規制提案の背後には「利権を維持したい」とする官僚の本音が見え隠れすると指摘する意見すらある。万が一にも省益確保のために国益が損なわれることは許されない。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。

安全保障と独占 区別して議論を 空港の民間化では「安全保障上の懸念」と「独占的であるため経済に影響を及ぼす懸念」を区別して議論する必要がある。